

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 2017P-017
補助事業名 平成29年度自転車競技の普及促進及び競技力向上に資する補助事業
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本体大会の開催により、国内自転車競技の普及促進及び開催地域の活性化を図る。また大会レベル（レースクラス2.1）の維持やさらなる人気の向上を図ることにより、国内におけるスポーツ文化の発展、国民の健全な心身の発達及び自転車市民権の確立（＝自転車文化の創出）を目的とする。

(2) 実施内容

富士山ステージ開催、東京ステージ開催、ツアーオブジャパン広報
(<http://www.toj.co.jp/2017/>)

国内で唯一の都府県（堺～東京間）をまたぐステージレースである、国際自転車競技連合（UCI）公認の自転車ロードレース「第20回ツアーオブジャパン」を開催した。本大会は国内最大の8日間8ステージでの開催であり、コースについては全て公道を使用した設定で行った。本年は20年ぶりに日本人選手の初山翔（ブリヂストンアンカー サイクリングチーム）が山岳賞を獲得した。



力強くスパートをかけるステージ優勝のチーム右京のオスカル・ピュヨル選手

東京ステージのスタート前には平成29年5月1日に施行された「自転車活用推進法」の啓発を兼ねて、自転車安全利用を啓発するパレードランを実施。

2 予想される事業実施効果

日本国内最大期間である8日間8ステージでの開催や、UCI2.1であることが認知され、名実ともに日本最大のステージレースといえる本大会を通して、一般観客や国内選手への自転車競技のさらなる普及発展が見込まれる。

本大会では、20年ぶりに日本人選手の初山翔選手（ブリヂストン アンカー サイクリングチーム）が山岳賞ジャージを獲得し、大会を盛り上げたが、世界最高峰の「ツール・ド・フランス」や、来る2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて活躍のできる選手の育成のためにも、「ツアーオブ・ジャパン」は世界の走りを体感し、競技レベルをアップするために非常に重要な大会であり、本大会で活躍することで多くのマスコミから注目され、その結果、自転車ロードレースのみならず、自転車業界全体の発展に寄与するものである。

富士山ステージにおいては、次回21回大会ではコースの拡大が検討されており、より多くの方に生の自転車競技に触れていただく機会を創出し、開催地域における自転車競技の浸透が見込まれる。また、東京ステージではスタート地点において、平成29年5月1日に施行された「自転車活用推進法」のPRも兼ねて自転車安全利用の啓発の横断幕を掲げることで、多くのメディアに取上げられ「自転車も車両の仲間」であることが広く周知される。

昨年より実施しているFRESH !によるストリーミング配信は生放送で117,952人の方に視聴いただき、アーカイブが残っている事もあり今後更なる新規ファン獲得が期待される。

全ステージ公道を利用することで、自転車も車道を走る仲間というイメージを認識していただき、自転車の健全利用に繋がり、自転車文化の創出を図ることが期待できる。

3 本事業に係る成果物

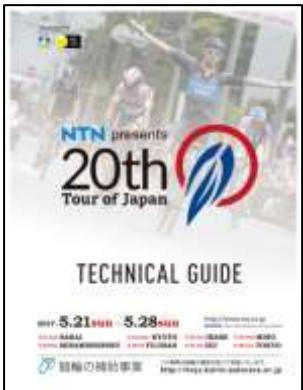
(1) 補助事業により作成したもの

- ・TOJ報告書（<http://www.toj.co.jp/2017/?tid=100204>）



(別紙5)

・T0Jレースマニュアル



・T0J 告知チラシ (A4)



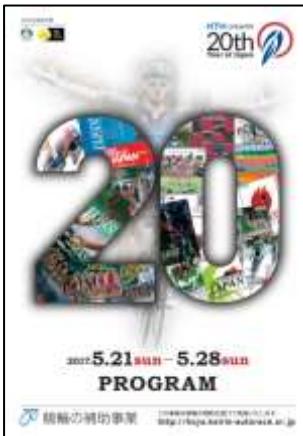
チラシ（表面）、ポスター

・T0J ポスター (B2)



チラシ（裏面）

・T0Jプログラム



・TOJ 東京ステージ交通規制チラシ (B4)



・TOJ 東京ステージ交通規制バスポスター (B3)



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：一般財団法人 日本自転車普及協会(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住所：141-0021

東京都品川区上大崎 3-3-1

代表者：会長 石黒 克巳(イシグロ カツミ)

担当部署：事務局 (ジムキョク)

担当者名：事務局長 大島 武巳(オオシマ タケミ)

電話番号：03-4334-7952

F A X：03-4334-7957

E-mail：jifukyo@jifu.jp

U R L：<http://www.bpa.j.or.jp>